



Biz Com

[ビズコム : Vol. 43]

<http://www.rikkyo.ac.jp/sindaigakuin/bizsite/bizcom/index.html>


Contents

2012年ビジネスシミュレーション特集号

BizCom Interview ビジネスシミュレーションA期間を終えて	1
11期生ビジネスシミュレーションチーム紹介	2-5
ビジネスデザイン研究科アントレプレナーシップ公開講演会レポート 岩瀬大輔氏 ライフネット生命保険株式会社 代表取締役副社長	6

BizCom Interview

ビジネスシミュレーションA期間を終えて

11期生全員が各チームに分かれ、仮想企業の経営者となる「ビジネスシミュレーション」は、ビジネスデザイン研究科の核となる名物授業です。前期終了時にチーム分けが発表され、後期A期間を使って連日取り組んだビジネスゲームを行いました。担当していただいている4人の先生方に、あらためて「ビジネスシミュレーション」の意義やA期間を終えての感想をお聞きました。

1. ビジネス・シミュレーションを通して、どのようなことを学び、経験することを期待されていますか？
2. A期間のビジネス・ゲームが終了して、どのような感想をお持ちですか？
3. B期間のビジネス・プランでは、院生に対してどのようなことを期待されていますか？

宮下篤志 特任教授のコメント



- 1 マネジメントの全体を捉えながら、現在学んでいる科目の知識を横断する「統合の概念」を学んで頂きたいと捉えています。それは単なる各々の科目が合計された知識ではなく、繋ぎ合わせるとマネジメントの全体像が見えてくることに自らが気付くことにあります。また、チームビルディングおよび運営は経営そのものです。これを軽視せず、異なる考えや視点を大切にしながら、まとめて行くことで成長が促されます。
- 2 院生の方々はとても熱心です。そしてとても深く捉えています。特にゲームを現実とゲーム性の部分を行き来する、各人の器と思考が求められますが、多くの院生がそれらを乗り越えられています。A期間で印象的だったのは、各社の理念と戦略の意思決定、およびゲーム性と現実の狭間で苦しんだことではないでしょうか。
- 3 A期間のゲームは規定されていましたが、B期間は各々のチームが「未来」を描くことをプランに転換して表現するからです。それはひとつの混沌ともみられる空間的な並存状態に新しい秩序を与える働きです。その中心は人であり人が何をやるのかという原点を探って欲しいと思います。また、マネジメントの課題は未来にあります。過去の分析結果を学ぶ量の方が圧倒的に多い中で、未来を試行することを直観と論理の双方を大切に学んで欲しいと思います。

山中伸彦 准教授のコメント



- 1 以下の点を授業の目的にしています。①情報の析出、整理、状況の分析、環境認識と問題の定義、選択肢の導出と評価、実行、結果の評価といった一連の意思決定のプロセスを経験的に学ぶとともに、経営の「総合」的決定を学ぶ。②経営環境の分析、選択肢の導出に使用される各種の分析枠組みの有効性と限界について学ぶ。③私たちの認識や決定が私たち自身に

よって制約されていることを知る。④競争的市場において、個々の経済主体の行動がいかにかに市場の状況を形成し、いかにかに推移し、さらにかに制約されるかを学ぶ。

- 2 毎回の分析や意思決定、プレゼンテーションに、各チームの個性の違いが現れていたのは面白かったです。こうしたチームの個性がコンピタンスの違いとして現れるのかもしれませんがね。
- 3 個々人の多様性が創造的な構想力の源泉です。異質な個性の配合がチームの「creative response」を可能にします。価値観や意見の違いは問題を多面的に捉え、発想の転換を可能にするでしょう。創造的構想のプロセスを楽しんでください。

沖本美幸 特任教授のコメント



- 1 企業の経営戦略立案、戦略の実践、検証、及び検証結果の次期への反映をどのように行うかを基本にして、その各段階を通しての俯瞰的な経営実態を理解することが必須と考える。経営論の基本である自社の強みを如何に構築するかの考え方を理解させたい。
- 2 今年度も素晴らしい院生が集結したと考えている、途中での判断ミスで結果は惨憺たる結果であったとしても、最後まで前向きに努力したことは素晴らしい。これは、各院生が、将来の自分のあるべき姿を見据えて切磋琢磨したことと考えられる。目先の授業の成果もさることながら自身のキャリアの設計図を明確に持っていたことに他ならない。
- 3 ビジネスプランの本質は、顧客ニーズの空白をどのように見極めるか、またその目的のための工程表を如何に作成するかを十分に理解し、当然ながら収益性までも視野において知恵を絞ってほしい。

青淵正幸 准教授のコメント



- 1 ビジネスシミュレーションの授業で学んでいただきたいのは、経営を俯瞰できる力をつけることと、チーム作業の難しさを実感することです。企業は分業による協業によって利益の最大化を追求します。利益の追求には種々の犠牲（コスト）を伴いますが、必要以上の犠牲は利益を減じます。経営意思決定の議論を通じてコミュニケーション能力を高め、また、意思決定内容（企業の活動）がどのように結果（数値）に反映されるかを学ぶことで、ビジネスリーダーとしての資質が醸成されていくと考えています。
- 2 VL004クラスのビジネス・ゲーム（A期間）は、これまで担当してきたクラスの中でもユニークなものでした。チームカラーが毎回の意思決定に現れており、それが見事にまで結果に反映されていました。バーチャルの世界ではありますが、外部及び内部の環境をチーム内できちんと分析していた結果ではないかと感じています。
- 3 ビジネス・プラン（B期間）では、物事を考察するステップを学んでいただきたいと思います。ビジネスの種を見つけても、いきなりプランができるわけではなく、種々のステップを踏む必要があります。これによって得られる思考は、論文を執筆する上でも大いに役に立つでしょう。